

授業科目名	教育社会学演習I
科目番号	CB25312
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	秋AB火4
担当教員	徳永 智子
授業概要	文献を講読し、討議・検討することで、社会的に解明すべき教育問題に目を向ける。次いで、問題のテーマ化を図りながら視点を定めることにより解明すべき課題を導出する。課題解明のための方法を学びながら、調査研究を企画・計画する。もって、教育問題に社会的にアプローチする基礎を身につける。
備考	社会教育主事（2012年度までの「教育社会学演習」に対応する。）2012年度までの「教育社会学演習」の単位取得者の受講は認めない。2012年度以前の入学者に限る。 対面 ※対象となる学生以外は履修できないので注意すること。
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	
授業の到達目標（学修成果）	教育社会学や関連領域の基本概念および理論を学び、様々な教育事象を社会的な観点から分析する力を身に着ける。文献を読みながら、教育社会学研究の課題設定、問いの立て方、研究方法などについて学び、最終的には各受講者が学んだ視点や方法を取り入れた研究構想を発表する。
授業計画	受講生の研究関心に合わせて、家族、学校、階層と教育、教育問題、マイノリティと教育、若者文化など、教育社会学が扱う幅広いテーマや方法論への理解を深めていく。毎回、受講生が論文（『教育社会学研究』・『子ども社会研究』）に基づく報告をし、全員で討論する。 第1回 オリエンテーション 第2回 家族と社会化 第3回 学校と子ども文化 第4回 階層と教育 第5回 教育問題 第6回 地域と仲間文化 第7回 ジェンダー・セクシュアリティと教育 第8回 グローバリゼーションと教育 第9回 若者とトランジション 第10回 構想発表 上記の授業内容は、受講者の数や関心によって変更する可能性がある。
成績評価方法	授業への貢献・積極性、発表、課題・最終レポートなどを総合的に判断し、評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	全員、授業前までに指定論文を精読し、ディスカッションの準備をするなど、十分な予習の時間が求められる。
教材・参考文献・配付資料等	以下は参考文献です： 1. 飯田浩之・岡本智周編（2018）『教育社会学』ミネルヴァ書房。 2. 岸政彦・石岡丈昇・丸山里美（2016）『質的社会調査の方法:他者の合理性の理解社会学』有斐閣。 3. 日本教育社会学会編『教育社会学研究』東洋館出版社。 4. 日本子ども社会学会『子ども社会研究』内外出版。

教材・参考文献・配付資料等	5. 日本教育社会学会編 (2018) 『教育社会学事典』丸善出版。 その他、参考文献は適宜授業中に指示する。
オフィスアワー等 (連絡先含む)	水曜11:30-13(事前のアポイントをとること) tomokot★human.tsukuba.ac.jp(★を at に)
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	学生による発表、ディスカッション、質疑応答、グループワーク等を取り入れた、双方向型の授業を行うため、学生の積極的な参加が求められる。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF) ・ティーチングアシスタント (TA)	
キーワード	社会学的想像力, 社会調査, 質的研究